

煙突から見えるのは水蒸気です

寒い朝などに、煙突から「白煙」が見えることがあります。これは、適切に処理された排ガス中の水蒸気が、大気で急激に冷やされて水滴になることで煙状となって白く見えるものです。

冬場に吐く息が白く見えるのと同じで、気温が低い日、湿度が高い日に発生しやすくなります。また、見る場所によっては光の加減により灰色に見えることもあります。

一般的に「ばい煙」は煙突先端から煙が見えますが、水蒸気の場合「白煙」は煙突先端に透明な部分があるため、その違いが分かります。

